

一般演題抄録

I-1 乳腺原発粘表皮癌の1例

○丹場 太陽 西村 顕正 岡野 健介 袴田 健一

(弘前大学大学院医学研究科 消化器外科学講座)

症例は70歳代女性。20XX年Y月左乳房腫瘍を自覚し、紹介医を受診した。

CNBにて乳癌が疑われ、Y+1月当科紹介受診となった。当科でUSガイド下吸引式乳房組織生検を施行し、悪性腫瘍の診断を得た。Y+4月左乳房全切除術+腋窩センチネルリンパ節生検を施行した。術後の病理結果で粘表皮癌の診断を得た。粘表皮癌は、1945年に Foote らによって初めて唾液腺で報告された悪性上皮性腫瘍である。唾液腺では悪性腫瘍の約20%を占めると言われているが、乳腺原発の症例は0.3%と報告されている。かなりまれな症例と考えられたため、文献的考察を加え報告する。